

nedius

リュック式クリーナー（乾式）

品番

NV-110RIZ

取扱説明書 （保証書付き）

吸引対象物	
一般ゴミ	○
微粉じん	×
水	×
油類	×

も く じ

安全上のご注意	1
梱包内容	3
各部の名称	4
お掃除前の準備	5
紙パック、角型フィルターの 取付け／取外し	5
付属品の装着	6
本体の装着	8
操作方法	9
使用後のお手入れ	10
紙パック、各フィルターのメンテナンス	10
安全のための点検のお願い	12
こんなときは(故障かな?と思ったら)	13
仕様	14
別売品のご案内	14
製品保証書	15



**本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。**

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に、この説明書を最後までお読みください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みのうえ正しく
お使いください。お読みになったあとは、お使いになる
方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、
本説明書を必ずお読みください。



日本国内用 FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意



このクリーナーは業務用です。十分に使用方法を習熟されていない方は、ご使用にならないでください。掃除用途以外でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

※ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、『警告』『注意』の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。










 警告 取扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。	 注意 取扱いを誤ると、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容です。
--	---

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。（下記は絵記号の一例です。）

 ○記号は、してはいけない『禁止』内容です。（左図は分解禁止）	 ●記号は、必ず実行する『強制』内容です。（左図はプラグを抜く）
--	---

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。













警告

 強制 この取扱説明書に従って使用する。付属品は必ずメーカー指定のものを使用する。 * 事故の原因になります。	 強制 定格15A以上のコンセントを単独で使用する。 * 他の器具とコンセントを併用したり、電源回路の許容電流が合わないと、分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。
 濡れ手禁止 濡れた手で、電源プラグやスイッチ、クリーナー本体に触らない。 * 感電やケガの恐れがあります。	 強制 雨にぬれないよう屋内で保管する。 * 感電の恐れがあります。
 禁止 引火性の液体や気体、または粉じんのある場所で使用しない。 * 発火する恐れがあります。	 水濡れ禁止 本機に水や油をかけたり、雨水のかかる場所で使用しない。 * ショートや感電、火災の原因になります。
 禁止 液体は吸引しない。 * 本機は粉じん専用です。液体を吸引すると、感電・漏電・火災の原因になります。	 禁止 人体に有害な物質を吸引しない。 * 環境汚染・健康障害につながる危険性があります。
 強制 電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。 * プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。	

⚠️ 注意

 禁止	<p>10μm(マイクロメートル)以下の粉じんは吸引しない。 * 本機は極小微粉じん吸引には適しません。 ①微粉じんがモータ内部へ入り込み、モータ焼損を原因とした火災の恐れがあります。 ②微粉じんがフィルターを通過して排気口から吹出し、雰囲気汚染の原因になります。</p>		
 プラグを抜く	<p>動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。 * 感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。</p>	 分解禁止	<p>改造しない。 修理作業員以外の人は、分解・修理を絶対にしない。 * 火災や感電、ケガの原因になります。 * 修理は販売店または弊社「お客様相談室」へご相談ください。</p>
 強制	<p>電源は交流100V専用コンセントを使う。 * 交流100V以外の電源を使用すると、火災や感電の原因になります。</p>	 禁止	<p>電源コードは延長しない。 * コードが発熱して火災の恐れがあります。</p>
 強制	<p>使用する電源回路を事前に確認する。 * 許容電流15A以上の電源回路が必要です。 許容電流が合わないと、過熱などにより事故の恐れがあります。</p>	 禁止	<p>電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。 * 感電やショートして発火する恐れがあります。</p>
 強制	<p>所定の場所にフィルター、紙パックを必ず取付けて使用する。 * 事故やケガの原因になります。</p>	 禁止	<p>クリーナーを遊具として使用しない。 * 感電やショートして発火する恐れがあります。</p>
 水場使用禁止	<p>屋外の雨水のかかる場所で使用しない。 * 絶縁劣化による感電・漏電火災・故障の原因になります。</p>	 火気禁止	<p>火気に近づけない。 * 本機の変形により、ショートして発火する恐れがあります。</p>
 禁止	<p>塩素系切削油がミストや油煙化した雰囲気内で使用しない。 * 樹脂部品に付着すると、化学変化が起きて樹脂が割れる恐れがあり、割れた部品などでケガをしたり、部品破損により思わぬ事故が起きる危険があります。</p>	 禁止	<p>温度の高い場所で使用しない。 * 火災の原因になります。 雰囲気温度範囲は0$^{\circ}$C~40$^{\circ}$Cです。</p>
 禁止	<p>湿度の高い場所で使用しない。 * 感電・火災・故障の原因になります。 雰囲気湿度80%以下でご使用ください。</p>		
 禁止	<p>火のついたままのたばこやマッチ、灰などを吸引しない。 * 火災や事故の原因になります。</p>	 禁止	<p>尖った硬いものは吸引しない。 * 紙パックが破損し、モータ焼損による火災の原因になります。</p>
 禁止	<p>運転中に吸引口や排気口をふさがない。 * モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。</p>	 強制	<p>パイプやホースに吸引物などが詰まったときは、すぐにスイッチを切る。 * モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。</p>
 強制	<p>ノズルの取付け／取外しの際は、必ず電源を切る。 * 事故やケガ、故障の原因になります。</p>	 接触禁止	<p>吸引口やノズルの中に手や指を入れない。 * ケガの原因になります。</p>

⚠️ 注意

 強制	階段付近で使用するときは、細心の注意を払う。 * バランスを崩し転倒の恐れがあります。	 禁止	ホースを踏んだり、急激に引っ張らない。 * ホース破損による汚損事故の原因になります。
 禁止	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重い物をのせたり挟み込まない。 * 電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。	 禁止	電源コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 * コードが発熱して火災の恐れがあります。 必ず伸ばした状態で使用してください。
 禁止	電源プラグに金属片やゴミを付着させない。 * 感電やショートして発火する恐れがあります。	 強制	使用後は、電源コードが踏まれないようにする。 * 電源コードが劣化したり、傷つくと危険です。束ねてコードホルダーに掛けて保管してください。
 強制	定期的に電源コードやプラグが傷んでいないか点検する。 特にドアの間に挟んだり、コードを踏んだりした際には必ず点検する。	 強制	電源コードの交換は、必ず製造者もしくはその代理店、または同等の有資格者が行う。 * 危険を防止するため
 強制	プラグをコンセントから抜く際は、必ずクリーナーの電源を切る。 * 感電の恐れがあります。	 強制	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端のプラグを持って引き抜く。 * 感電やショートして発火する恐れがあります。
 プラグを抜く	使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 * ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。	 プラグを抜く	お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 * 感電やケガをする恐れがあります。

梱包内容

クリーナー本体とショルダーセット

※下記装着済

- ・紙パック
- ・布フィルター
- ・角型フィルター
- ・排気フィルター



フロアノズル



丸ブラシノズル



スキマノズル



紙パック(5枚入×2袋)



ホース組品

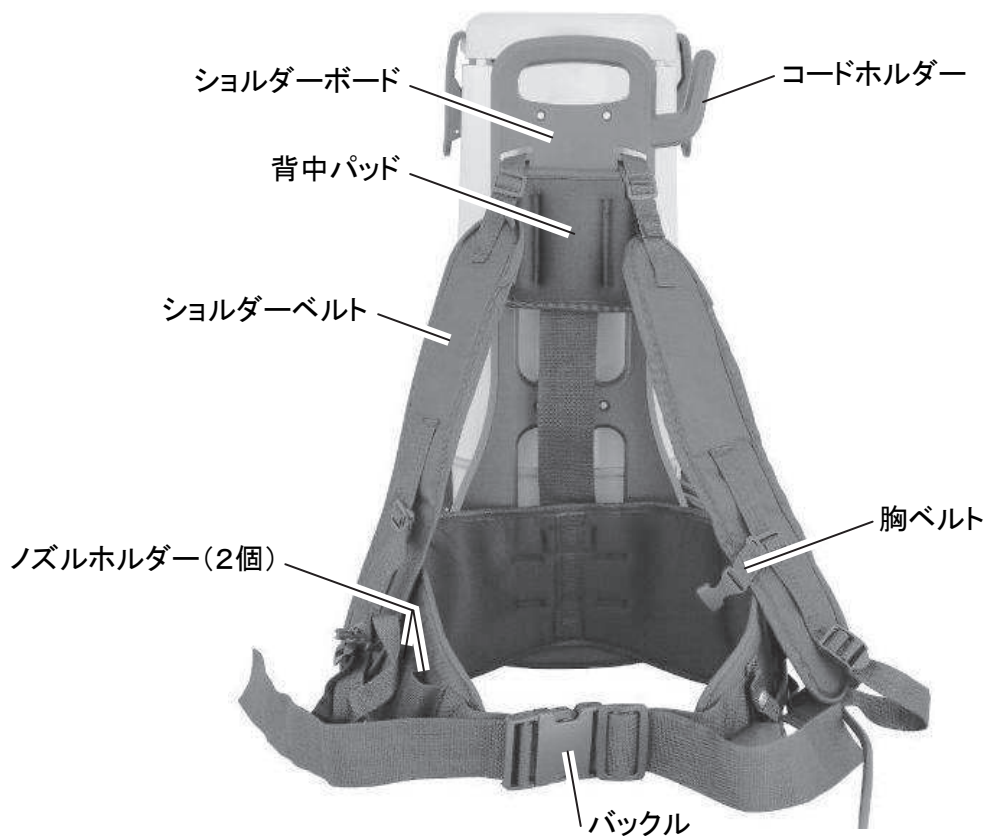
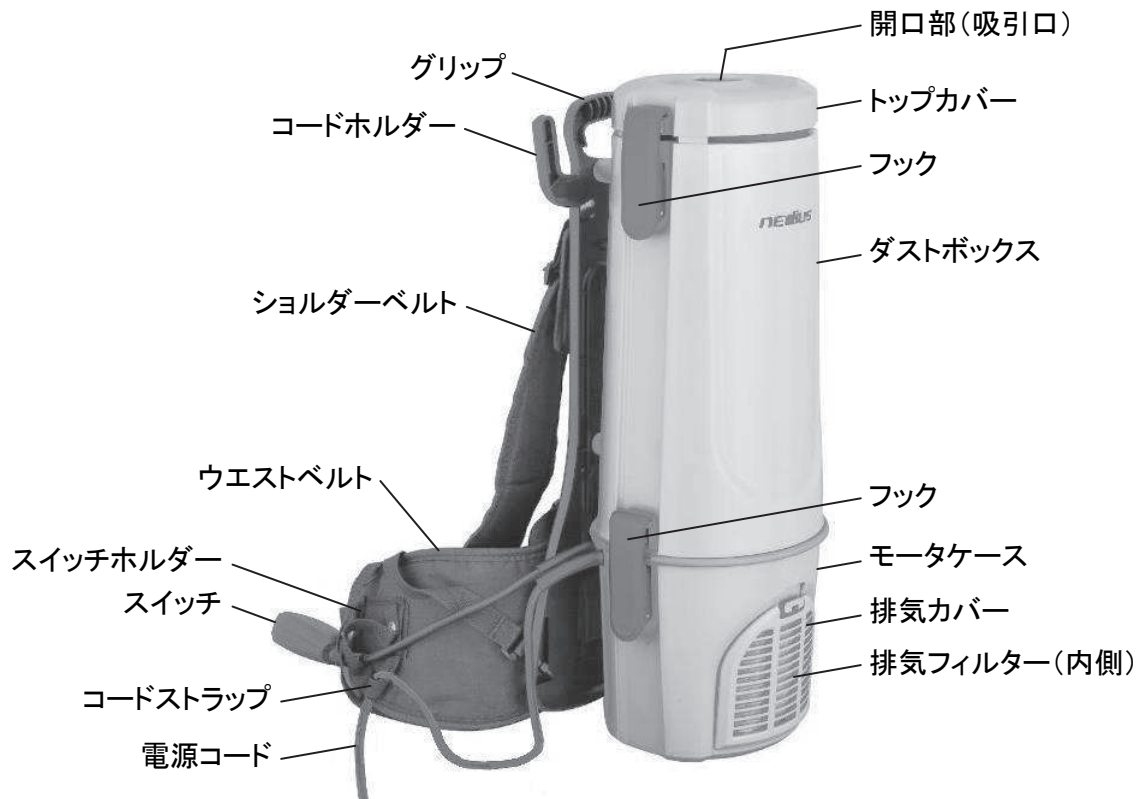


直管パイプ(2本)



取扱説明書(この冊子)

各部の名称



お掃除前の準備 ●ご使用の前に次の順序で正しく組み立ててください。

⚠ 注意



強制

- ・各フィルター、紙パックを取付けるときは、必ずクリーナーの電源を切る。
 - * 事故やケガの原因になります。
- ・本機には純正紙パックを必ず使用する。
 - * 純正以外の紙パックを使用した場合、吸引力が低下し風量不足などでモーターがオーバーヒートする場合があります。

注記

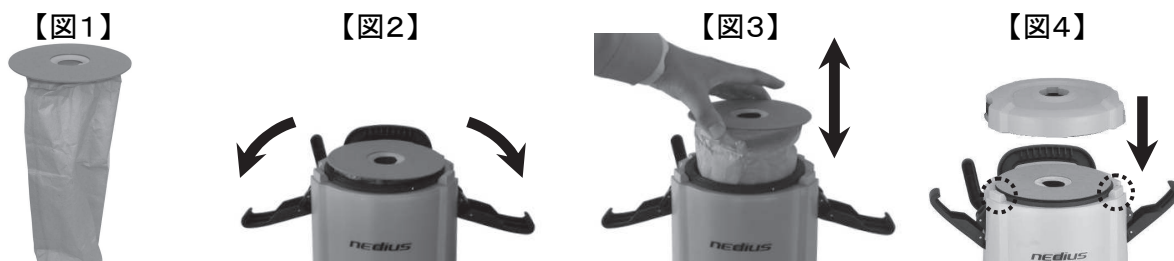
使用する前に必ず紙パックが正しくセットされているか、破れていないか、ゴミが一杯になっていないかをチェックしてください。

* モーターにほこりが入り込み故障の原因になります。

紙パック、角型フィルターの取付け/取外し

《紙パック》【図1】

- ① ダストボックス上部のフックを外し、ダストボックスからトップカバーを外します。【図2】
- ② 紙パックの厚紙部分をつかみ、静かに持ち上げます。【図3】
- ③ 紙パックの厚紙部分をつかみ、静かに取付けます。【図3】
- ④ トップカバーをつけてフックを閉じます。【図4】
ダストボックスの凸部とトップカバーの凹部は大・小があります。凸部と凹部の大きさを合わせて正しい向きに取付けてください。



注記

- ① 紙パックは、正しく装着してください。
正しく装着していないと、ゴミが漏れて、クリーナーの故障の原因になります。
- ② 紙パックに無理な力を加えないでください。破れる原因になります。

《角型フィルター》【図5】

注記

角型フィルターなしで本機を使用しないでください。
* モーターにほこりが入り込み、故障の原因になります。

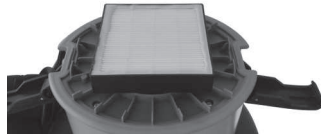
- ① 本体下側のフックを外し、モーターケースからダストボックスを外します。【図6】
- ② 角型フィルターのプラスチック部分をつかみ、左に回して持ち上げます。【図7～8】
- ③ 新しい角型フィルターを置き、右に回して取付けます。【図9～10】
シールが貼ってある角型フィルターの角を、モーターケースの矢印の位置に合わせてから、シールの矢印がモーターケースの矢印と合う位置まで右に回してください。角型フィルターを軽く持ち上げてみて外れなければ正しく取付けができています。

④ ダストボックスをモーターケースの上に載せ、フックを閉じます。【図11】

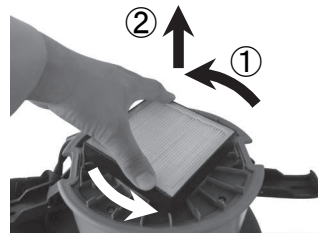
【図5】



【図6】



【図7】



【図8】



【図9】



【図10】



シールとモーターケース上面の矢印を合わせる

【図11】



付属品の装着

⚠ 注意



強制

付属品は、当社指定のものを使用する。
付属品を取付ける際は、必ず電源を切る。
* 事故やケガ、故障の原因になります。

《ホースの取付け》

- ① トップカバーの開口部の切欠きに、ホースコネクターの凸部を合わせて差込みます。【図12】
- ② 軽く押しながら半回転させ、抜けないことを確認してください。【図13~14】
- ③ 差込んだ位置に戻すとホースコネクターは抜けます。【図12】

【図12】



【図13】



【図14】

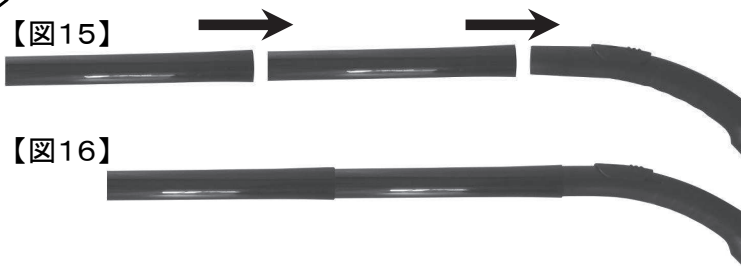


《直管パイプの取付け》

ホース先端に直管パイプを接続します。
しっかり固定されるように奥まで差込んで
ください。【図15～16】

【図15】

【図16】



《ノズルの取付け》

用途に合わせて各種ノズルをご使用ください。

- 【図17】フロアノズル : 床掃除などに
- 【図18】丸ブラシノズル : 家具の掃除などに
- 【図19】スキマノズル : 家具の隙間や狭いところのお掃除に

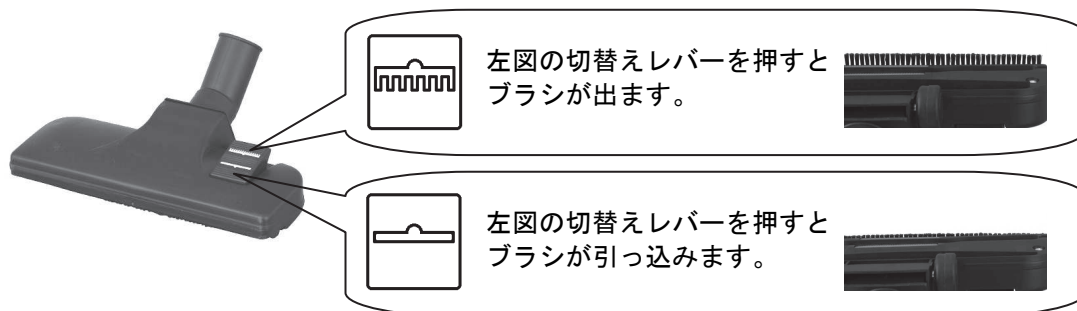
【図17】

【図18】

【図19】

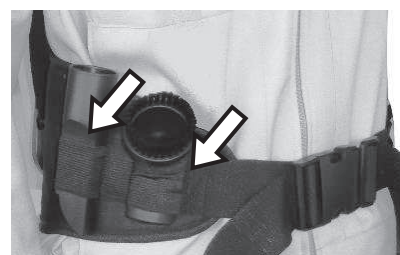


■フロアノズルのご使用方法■



- ノズルは、ウエストベルトのノズルホルダーに差しておけます。お掃除の途中でノズル交換が必要になったときにすぐに取り出せるので便利です。【図20】

【図20】



《スイッチ》

スイッチのコードを、ウエストベルトのストラップに留めてください。【図21～23】

【図21】

【図22】

【図23】



《電源コード》

電源コードを、ウエストベルトのコードストラップに通してください。【図24～26】
電源コードを束ねて、コードホルダーに掛けておくこともできます。【図27】

【図24】



【図25】



【図26】



【図27】



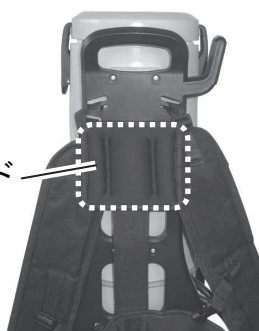
注記 クリーナーをご使用の際は、電源コードを必ず伸ばした状態で使用してください。
※巻いたままでお掃除をすると、電源コードが発熱して火災の危険があります。

《背中パッドの位置の調節》

作業者の体格に合わせて、背中パッドの位置を調節することができます。

背中パッドは、ショルダーボード中心のベルトの範囲で、上下に位置調節ができます。【図28～30】

【図28】



【図29】



【図30】

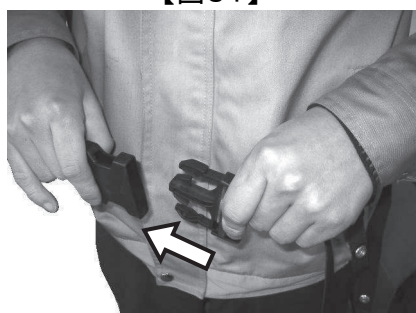


本体の装着

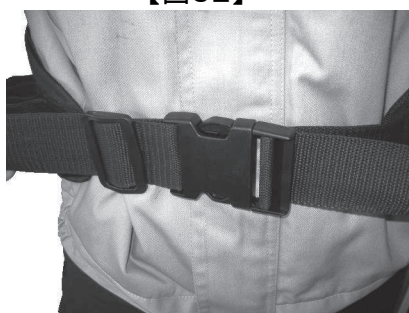
《本体の装着方法》

- ① 本体を持ち上げ、ショルダーベルトに腕を通して背負ってください。
- ② ウエストベルトを締め、ぴったりするよう長さを調節してください。【図31～33】

【図31】



【図32】

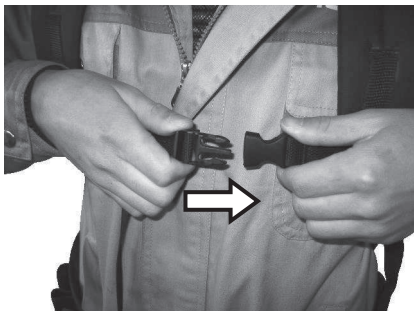


【図33】

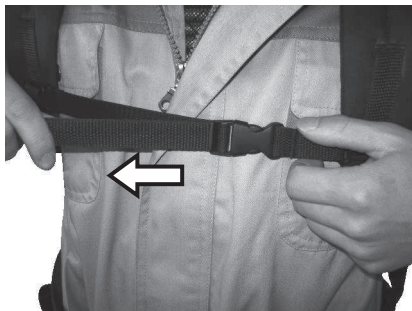


- ③ 胸のベルトを締め、長さや高さを調節してください。【図34～35】
- ④ 両脇のストラップを下に引いて、左右の高さを調節します。【図36】

【図34】



【図35】



【図36】

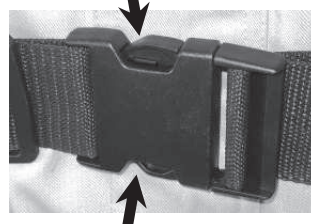


《バックルの脱着》

取付け：オスメスを合わせて、しっかり固定されているか確認してください。

取外し：バックルの両側をつまむと外すことができます。【図37】

【図37】



操作方法

⚠ 注意



禁止

液体や濡れたものを吸わない。
濡れた床面で使用しない。
*本機はドライ専用です。モータに水が入ると、感電や故障の原因になります。



強制

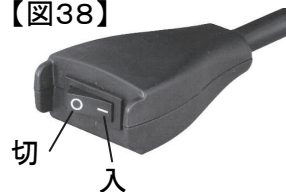
必ず所定の場所に紙パックおよび各フィルターを取付けて使用する。
*モータにほこりが入り込み、故障の原因になります。

注記

- ①本機は<軽じん用>です。10 μ m以下の微粉じんの吸引はモータ焼損事故の原因になります。
※10 μ mの目安は、指でつまんですり合わせたとき、指紋に入るくらいの大きさです。
- ②横倒しで使用しないでください。

- ① 「お掃除前の準備」の項を参照してクリーナーの準備をします。
- ② 電源プラグを100Vコンセントに差込み、スイッチを入れます。【図38】
- ③ 吸引力が強すぎて重く感じるときは、ホースの手元パイプ部分のスライドを開き、吸引力を調節します。【図39～41】

【図38】



【図39】

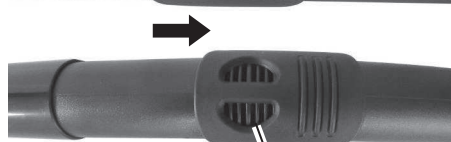


【図40】



手元パイプ部分

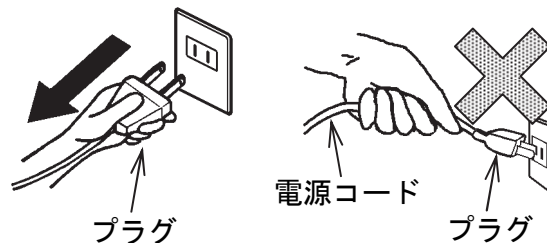
【図41】



吸引力調節

- ④ 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず先にスイッチを切り、プラグを持って、真っ直ぐ抜いてください。

注記 電源コードを横に引っ張ってプラグを抜くと、プラグ先端が変形して使えなくなります。



使用後のお手入れ

⚠ 注意



強制

クリーナーのお手入れの際は、必ず電源を切る。
* 火災、感電、ケガなどの原因になります。



強制

病院でご使用の場合、ゴミで一杯になった紙パックの処分方法は、病院の指示に従う。

注記

石油、ベンジン、アルコール、シンナー類は、ご使用にならないでください。

- ① 紙パックを点検して、ゴミが一杯になっていたり損傷がある場合は、新しい紙パックと交換してください。
※5ページの《紙パック》の項をご参照ください。
- ② 絞ったきれいな雑巾などでクリーナーの外側のほこりや汚れを拭取ります。
- ③ 屋内の清潔で乾燥した場所に保管してください。

紙パック、各フィルターのメンテナンス

⚠ 注意



強制

各フィルター、紙パックのメンテナンスの際は、必ず電源を切る。
* 火災、感電、ケガの原因になります。



強制

クリーナーを使用した後は、必ず各フィルターを掃除する。
* 火災、感電、ケガなどの原因になります。



強制

紙パックを点検し、損傷があったりゴミが一杯になっていたら必ず交換する。



強制

湿った各フィルターはよく乾かしてから取付ける。

《紙パック》

ゴミが一杯の状態または損傷のある紙パックを取外して、新しい紙パックと交換します。【図42】
※5ページ《紙パック》の項参照



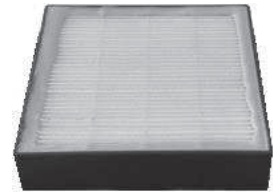
《角型フィルター》 【図43】

注記 角型フィルターなしで本機を使用しないでください。

角型フィルターが汚れた場合は、水洗いできます。
洗浄後は、よく乾かしてからご使用ください。
汚れがひどい場合は新品との交換が必要です。

定期的に角型フィルターを点検し、必要に応じて取替えてください。
※5～6ページ《角型フィルター》の項参照

【図43】



《布フィルター》 【図44】

紙パックを交換した際には、布フィルターもきれいにしてください。
破れていたり汚れがひどい場合は新品との交換が必要です。

- ① ダストボックス上部のフックを外し、トップカバーを外します。【図45】
- ② 紙パックの厚紙部分をつかみ、静かに持ち上げます。【図46】
- ③ 紙パックを外すと、その下に布フィルターがあります。【図47】
- ④ 布フィルターを取出し、付着ゴミなどを振り落としてください。【図48～50】
布フィルターを逆さまにして、底のベルトを持つと振り落としやすいです。
布フィルターは、水洗いもできます。布フィルターを傷つけないようやさしく手洗いしてください。
洗浄後は、よく乾かしてからご使用ください。
- ⑤ 布フィルターが損傷しているようなら新しい布フィルターに交換し、ダストボックスに取付け、その上に紙パックを取付けます。【図51】
- ⑥ トップカバーを閉めてフックを閉じます。【図52】
ダストボックスの凸部とトップカバーの凹部は大・小があります。凸部と凹部の大きさを合わせて正しい向きに取付けてください。

【図44】



【図45】



【図46】



【図47】



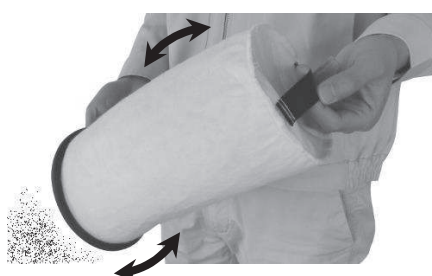
【図48】



【図49】



【図50】



【図51】

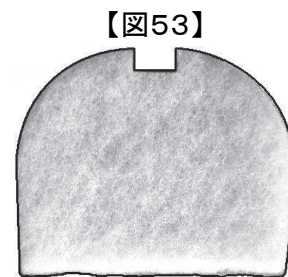


【図52】



《排気フィルター》 【図53】

排気フィルターは、クリーナーの排気をきれいにします。
 定期的に排気フィルターを点検し、必要に応じて取替えてください。
 ※排気フィルターは、水洗いもできます。排気フィルターを傷つけないようやさしく手洗いしてください。洗浄後は、よく乾かしてからご使用ください。



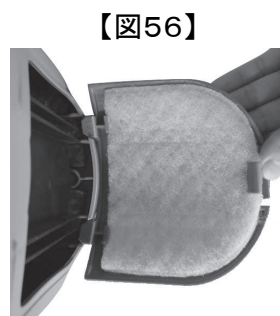
- ① 排気カバーのツメを下に押し、排気カバーを外します。【図54】
- ② 汚れた排気フィルターを排気カバーから取外し、新しい排気フィルターを取付けます。【図55】
- ③ 排気カバーの下のツメを排気口に差込んで固定し、排気カバーを閉めます。【図56～57】



【図54】



【図55】



【図56】



【図57】

安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「安全上のご注意」の項を先にお読みください。

安全にご使用いただくために、下記項目の点検をしてください。
 点検で不具合が見つかったときは、すみやかに処置を施してください。
 ※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の方は、分解や修理を絶対にしないでください。部品の交換・点検が必要な場合は、販売店に点検・修理をご依頼ください。

点検項目	処置
電源コードは傷んだり、変形していませんか？	電源コードの交換が必要です。
電源プラグは変形したりグラツいたりしませんか？	電源コードの交換が必要です。
ホースは変形したり破れていませんか？	ホースを交換してください。
ホース・直管パイプにゴミが詰まっていますか？	ゴミを取除いてください。
紙パックは正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
紙パックが破れていませんか？	紙パックを交換してください。
紙パックがゴミで一杯になっていませんか？	紙パックを交換してください。
排気フィルターが目詰まりしていませんか？	排気フィルターを掃除してください。
ダストボックスは変形したり割れていませんか？	ダストボックスの交換が必要です。
トップカバーとダストボックスは正しく装着していますか？	フックを確実に閉めてください。
フックは正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
各部のネジ、ナットはゆるんでいませんか？	増し締めしてください。
モータ回転音に異常はありませんか？	修理技術者、販売店に連絡してください。
変な音や、臭いがしませんか？	販売店に点検をご依頼ください。

こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「安全上のご注意」の項を先にお読みください。

故障かな？と思ったらときは、まず下記項目をご確認ください。

症 状	調べるところ	直し方
・運転しない。	電源プラグがコンセントに確実に差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込み直します。
	電源ブレーカーが落ちていませんか？	電源ブレーカーが落ちた原因を取除いてください。
	電源コードが断線していませんか？	電源コードの交換が必要です。
	過熱防止装置が働いていませんか？	スイッチを切り、パイプやホースに吸引物などが詰まっていれば取除いてください。 過熱防止装置は自動復帰です。 約15分後、スイッチを入れると運転再開できます。
	モータの寿命ではありませんか？	モータの交換が必要です。 モータの寿命は、約500時間が目安です。
・吸引しない。 ・発生音が高くなった。	紙パックが吸引物で一杯になっていませんか？	紙パックを交換してください。
	ホースや吸引口に吸引物などが詰まっていますか？	吸引物などを取除いてください。
	ダストボックスに亀裂が入っていませんか？	ダストボックスの交換が必要です。
・吸引力が急に弱くなった。	ホースや吸引口に吸引物などが詰まっていますか？	吸引物などを取除いてください。
	ホースやパイプが破れていませんか？	ホースやパイプを交換してください。
	トップカバーとダストボックス、モータケースは完全に密閉していますか？ 隙間ができていませんか？	トップカバーとダストボックス、モータケースを正しく合わせて、フックで確実に固定してください。
	紙パックが目詰まりしていませんか？	紙パックを交換してください。
	排気フィルターが汚れていませんか？	排気フィルターを掃除してください。
	モータが異常回転していませんか？	修理技術者に連絡して、故障のモータを交換、または故障原因を取除いてください。
・紙パック交換後、モータは動くが吸引しなくなった。	紙パックが正しく装着されていますか？	正しく装着してください。

※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の方は、分解や修理を絶対にしないでください。

※上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。

仕様

品番	NV-11ORIZ	
電源	100V	
消費電力	1,100W	
電流	11.5A	
風量	2.7m ³ /min	
最大真空圧	22kPa	
吸込み仕事率	285W	
フィルター面積	角型フィルター：0.14m ² 、布フィルター：0.13m ²	
紙パック容量	2.5L	
ホース	径φ32×長さ1.8m	
電源コード	長さ15m	
本体寸法	幅250×奥行225×高さ570mm	
標準質量	7.4kg（本体質量 4.4kg）	

注記 ①許容電流15A以上の電源回路が必要です。使用される電源回路をご確認ください。
 ②標準質量は、ホース、直管パイプ2本、フロアノズル、電源コードの質量を含みます。
 ③本体質量は、本体とショルダーベルト類のみの質量です。

別売消耗部品のご案内

⚠ 注意

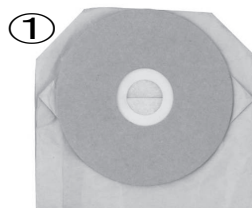


禁止

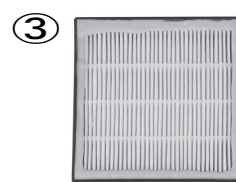
当社純正品以外の紙パックを使用しない。
 *クリーナーの紙パックは、機能部品です。当社純正品以外の紙パックを使用した場合、モータの発煙・発火が発生する恐れや、クリーナーの性能・品質の劣化がおこる恐れがあります。必ず純正品をご使用ください。
 セットの仕方、取扱上の注意などは、本取扱説明書の5ページをご参照ください。

注記 紙パックは使い捨てです。繰り返し使用しないでください。

①紙パック〔5枚入〕

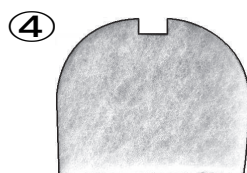


②布フィルター〔1個〕



③角型フィルター〔1個〕

④排気フィルター〔1枚〕



⑤ホース組品〔1本〕



製品保証書 (持込修理)

品 番	NV-110RIZ		製品保証期間	本体 お買い上げ日より1年間		
			※お買い上げ日	西暦	年	月 日
※お客様	〒 TEL		ご住所			
	お名前		様			
※販売店	〒		所在地			
	店名		印			
	TEL					

※印欄にご記入なき場合は無効となります。必ずご記入、ご確認ください。

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ただし、消耗品や定期交換部品は保証の対象から除きます。製品品番や販売店名等の必要事項が記載されていないものは無効です。

無料修理規定

- 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。無料修理いたします。
 - 次のような場合は、保証期間内でも有料修理となります。
 - (A) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (B) お買い上げ後の落下等および輸送上の故障および損傷。
 - (C) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他の天災地変や異常電圧などによる故障および損傷。
 - (D) 一般的な用途以外に使用された場合の故障および損傷。
 - (E) 本書のご提示がない場合。
 - (F) 本書に、お客様名、買上年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
 - ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
 - ご贈答などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合には取扱説明書に記載されているお客様相談室にお問い合わせください。
 - 出張修理をご依頼の場合は出張に要する実費を申し受けます。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。
- ☆この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または取扱説明書に記載されているお客様相談室にお問い合わせください。

⚠ 注意



強制

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。
 * 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
 * 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店にお申し付けください。なお、クリーナーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。